

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	行動憲章を定め、従業員の多様性、人格、個性を尊重することを明示。また、コンプライアンスマニュアルを活用し、委員会の設置や、定期的なコンプライアンス教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則にハラスメントを禁止する旨を明記。ハラスメント防止のための職場研修の実施、連絡窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法等関連法規に関する定期的な勉強会を実施。残業時間集計を毎月上長に提出し、改善策・対策を強化している。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	行動憲章を定め、従業員の多様性、人格、個性を尊重することを明示している。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生委員会が中心となり、作業の安全性について定期的に指導。事故防止に向けた予防と再発防止策を策定、徹底している。安全管理体制としては、安全管理者、衛生管理者等を置いている(定例安全衛生委員会の実施、安全衛生教育の実施)。			3						8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックの実施およびメンタルヘルスの相談窓口を設置している。産業医との連携を密にし、健康相談を実施している。			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	継続雇用、障害者雇用の促進。次世代育成支援対策推進法に基づき「一般事業主行動計画」を公表、実践している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得制度や研修制度を通して社員の資質・能力向上を図っている。セミナーや外部研修への参加機会を積極的に与えている。				4	5.5				8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パート賃金水準の見直し、ワークバランスの推進を実施している。パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	社員が働きやすい環境を整え、各人がその能力をいかに発揮できる職場風土を推進。業務の平準化と作業場での機械化を積極的に進めている。また、2024年3月に「健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)」の認定を取得した。			3						8								
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	特別管理産業廃棄物に関して電子 manifests を使用してコンプライアンス強化を図るとともに、その他産業廃棄物を低減するため分別を徹底している。										11.6	12.4		14.1				
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気使用量のチェックを月次で行い、その結果を踏まえた対応策を月次会議で検討し、省エネを推進している。信州省エネパトロール隊の無料省エネ診断、長野県環境保全協会の省エネ診断、環境省のCO2削減ポテンシャル診断を受診し、その結果を踏まえて計画的に省エネ設備を導入している。								7.3				13					
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	省エネ推進委員会の設置。電力量及びA重油使用量の削減に向けた方策と周知を徹底している。									7.2 7.3			12.4	13.3				
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための方策に取り組んでいる。SDSを入手し、それをもとにリスクアセスメントを実施している。特定化学物質に関しては、各個人、品目ごとに、使用量、使用時間等の記録を作成している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。排水については定期的に水質をチェックしている。						6.6									15		

16	□	<b>【3Rの推進】</b> ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	工場の資源利用の削減、再利用を推進している。製剤ロス の低減に努めている。												12.5		14.1				
17	□	<b>【水の管理】</b> ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	排水時の水質チェック(BOD、pH、大腸菌群数の3項目)に 努めている。					6.4	6.6												



	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	□	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域との対話・企業見学会などを実施し、地域・各種団体との連携を強め、地域の雇用に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	小・中・高等学校および被災地域への寄付や、地域ボランティア(バラ園、植樹祭)への参加を積極的に行っている。AEDを設置している。				4							11			14	15		17		
34	□	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	人的資源である、地域雇用を積極的かつ継続的に行なっている。									8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	ホームページ、CSRにて経営理念を明文化している。経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。									8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	掲示板、朝礼等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。コンプライアンス研修を実施している。																		16	
37	□	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者(担当役員)および総務部を対応部署とし、委員会内の各責任者ともに対応する体制としている。																		16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	卸売業者、MRを通じ医師や薬剤師との情報収集、提供を随時図っている。																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	手順書に沿った製造および品質管理を適切に実施している。リスクの洗い出しを行い、評価を行った上で必要な対策を講じている。																			16
40	□	【社会的責任】 ・ CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針を策定し、ホームページに記載、公表している。																			16
41	□	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	防火訓練の実施、災害発生時のマニュアル策定をしている。感染症に対する事業継続力強化計画の認定を受けたほか、事業継続計画(BCP)を策定している。										9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる。オーナー一族以外からも積極的に役員登用を図っている。										8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)